道路降雪除去委託料1408万4千円、八小・和小トイレ改修事業7656万2千円、八中トイレ改修事業8909万円、各基金積立金2億1552万2千円の追加並びに3事業1億7716万2千円の翌年度への繰越が主なものです。

▼平成29年度八百津町一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出予算の総額に各々1100万円を追加し、70億1208万8千円とするものです。

ふるさと応援寄付謝礼1100万円を追加するものです。

▼平成29年度八百津町水道事業会計補正予算（第2号）

地方公共団体金融機構債1億円の追加が主なものです。

▼平成30年度八百津町一般会計予算・特別会計予算・企業会計予算

3ページ「会計別予算集計表」を参照。（詳細は広報「やおつ」4月号をご覧下さい。）

その他

▼中濃地域農業共済事務組合規約の一部を変更する規約に関する協議について

農業災害補償法の改正に伴う規約の一部を変更することについて、議会の議決を求めるものです。

▼工事請負契約の変更契約の締結について

稲葉橋橋梁補修工事の請負契約の変更契約を締結するため、議会の議決を求めるものです。

議会改革特別委員会

1月23日に第1回の委員会を開催し、以後5回の委員会を行い協議をしました。その結果、町民からのご意見等を伺うため、住民意向調査を行うことになりました。

人事

人権擁護委員に 若村 圭美氏

6月30日に任期満了となる人権擁護委員の推薦については、若村圭美氏（八百津）を適任者として答申しました。任期は平成33年6月30日までの3年間です。

一般質問から 主な質問と答弁の要旨

林 俊宏 議員

Q1 広域行政の推進について

今後の施策は

問 みのかも定住自立圏共生ビジョンによる野外音楽フェスティバルが地域コミュニティ事業として開催されているが、更なる集客を目指し、町内外に向けて多くの方に来ていただくための今後の施策について伺いたい。

答（青山総務課長）

みのかも定住自立圏の第2次共生ビジョンに基づく重点事業として実施している「野外フェスティバルから始まる新しい地域コミュニティ事業」につきましては、事業の実施主体が「RAINBOW CHILD 2020実行委員会」という全くの民間団体であり、八百津町と美濃加茂市が実行委員会と連携し、事業を実施しているものです。これまで3回開催し、新年度も引き続き実施するよう進めているところであります。

これまで県内外から若者を中心に多くの方にご来場いただき、八百津町並びに定住自立圏域のPRや交流人口の増加に繋がっているものと考えております。

蘇水公園を利用しての開催はまだ3年で、来場者は1500人、1600人、1200人と、当初の目標と比較すると大きく伸びておらず、また地域住民の方々にも認知度が低く、その内容についても住民を巻き込んだイベントになっていないというのも一部ご指摘のとおりです。

しかし、移住・定住ブースを設けて「杉原千畝を顕彰する人道のまち　やおつ」のアピールや移住・定住に関する問い合わせも圏域市町村に数多くいただいており、木曽川を使ったイベントも含めて、除々にではありますが、定着をしてきているのではないかと感じております。

この定住自立圏共生ビジョンは、期間を平成31年度までの5年間としており、新年度に向けて実行委員会では様々な検討を進めております。八百津町・美濃加茂市と実行委員会との打ち合わせの場もこれから幾度も重ねながら、町民の方々に喜んで参加していただけるような、また県内外から多くの方に来ていただけるような企画内容を盛り込んでいきたいと考えており、PR方法も現在検討中です。

例えば、キッズダンスや太鼓、中学校の吹奏楽等、町民の方にも出演していただいたり、多目的グラウンドを使ってアトラクションやサッカー教室等を行う。物販等に出店していただける方を町内でも多く募集するなど、ボランティアの募集も含めて、この事業に関わっていただける町民の方々や出店者、来場者の増加にも繋げていきたいと考えております。そして出演するアーティストについても順次、予約の交渉を進めていただいているところであります。

Q2 まちなかにぎわい創出事業について

出店者への支援についての考え方は

問 本町商店街の空き家を活用した町の移住・定住・観光・産業を促進するための拠点づくり（まちなかにぎわい創出事業）として、「HATTI」（ハッチ）が本格的に展開され、複数の出店者が創意的な販売を地域社会の一つとして進められている。この事業では、人との繋がりや核としての魅力的なテナントが点在していき、相乗効果も期待した若い世代の移住・定住にも繋げていく。また、テナント出店者との商圏エリアによる来店者や近隣の方々も含め、より良い繋がりができ、更には